

<第47回兵庫県障害者技能競技大会>

ビルクリーニング競技 事前公表課題

一般的な注意事項

- 1 課題は、「かだい弾性床清掃及び机上清掃」です。
- 2 作業面積は、16 m² (4×4m) とし、はばき幅木による区画とし、はばき幅木の上には、かべ壁があるものとして作業を行ってください。
- 3 作業場所にあるつくえ机は、いどう移動させないでください。
- 4 規定時間は10分です。
なお尚、残り時間が3分になったところでアナウンスします。
また又、規定時間を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、せんもん専門委員の指示に従ってください。
- 5 作業開始の指示は専門委員が行ないます。競技者は、きょしゅ挙手または「はじめます」と申告してスタートしてください。競技が終了したらきょしゅ挙手または「終わりました」と申告してください。又、作業ごとの入退出を行なう際には、えしやく会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。競技中は上記以外の声は出さないでください。
※ はじめ始めと終わりの申告は、こえ声を出すことが困難な場合は、きょしゅ挙手のみで構いません。
- 6 課題において椅子を机上にあげる際は、あんぜん安全に配慮した形で上にあげてください。
- 7 作業終了後、きょしゅ競技時間を発表します。

- 8 使用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 9 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行なってください。
- 10 競技の採点は、作業準備・作業動作（手順）・仕様誤り・作業態度・作業時間の5面から審査し、加点方式により行います。
- 11 競技者は、本競技に適した服装をしてください。

<課題 弾性床清掃及び机上清掃>

- 1 床の材質は、塩化ビニール系の弾性床面とします。
- 2 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- 3 本課題で使用する資機材・消耗品は、選手自ら事前準備する資機材類は作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。
- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの上の所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のゴミは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業表示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラグ (モップ房)	260g 白色	1個
小型ぼうき	30cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

2. 選手が持参するもの

品名 ひんめい	寸法又は規格 すんぽうまた きかく	数量 すうりょう
作業着 (上・下) さぎょうぎ うえ した		1 着 ちやく
作業帽又は三角巾 さぎょうぼうまた さんかくきん		1 個 こ
作業靴 さぎょうぐつ		1 足 そく

*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：10分）

作業仕様 1-1

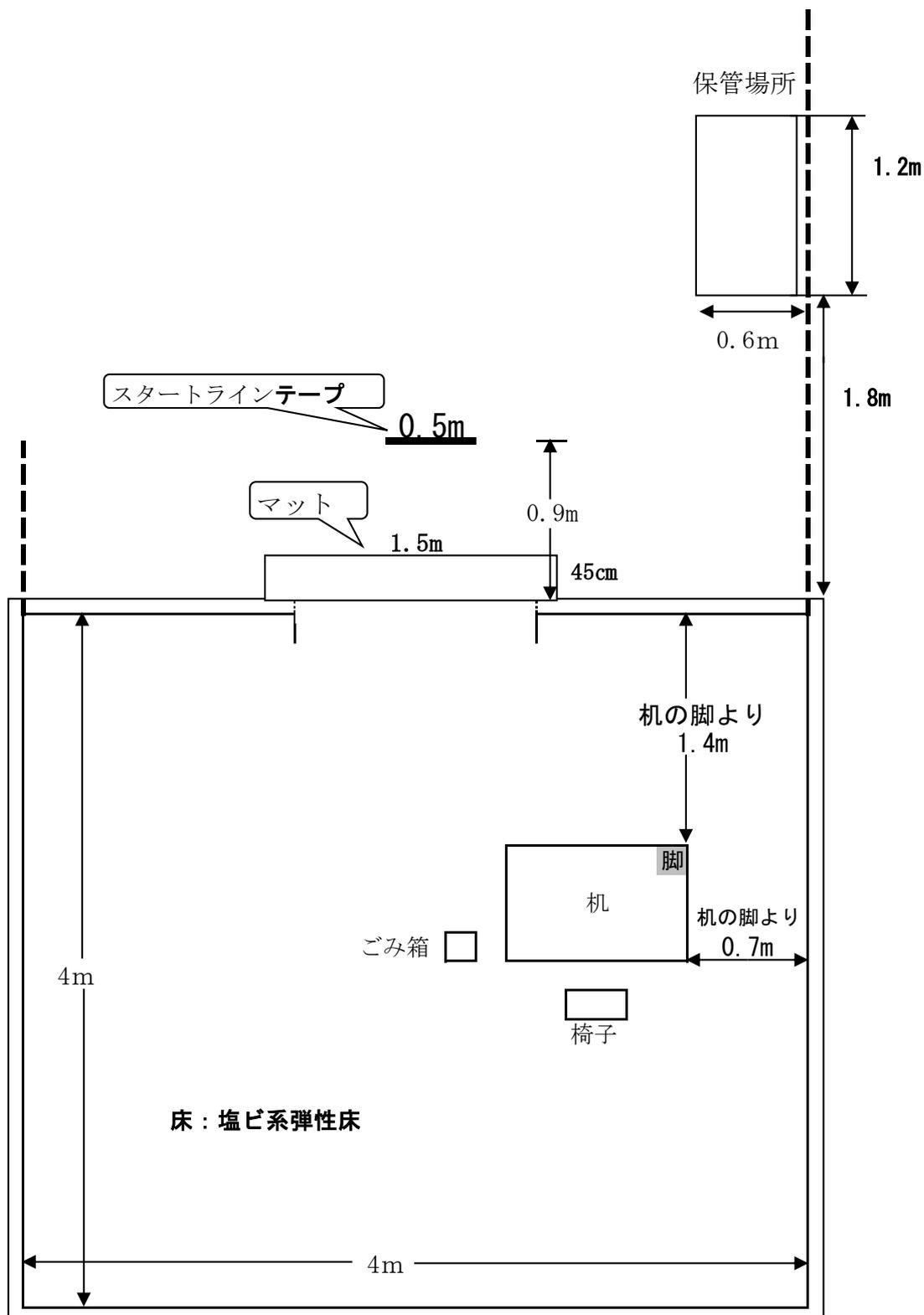
作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<p>・作業に必要な資機材（タオル・モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。</p> <p>①ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。</p> <p>②ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。</p>	<p>・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</p> <p>・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。</p>
競技開始の挨拶	<p>所定の位置に立ち、専門委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>片手を挙げ、一礼する。</p>	<p>作業開始を申告する。</p>
作業準備	<p>作業用カート（以下カート）を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。</p>		
入室の挨拶	<p>入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」と一礼して入室する。</p>	
<p>イス上げとゴミ処理</p> <p>(1) イスを上げる</p> <p>(2) ゴミの回収</p> <p>(3) ゴミ袋のセット</p>	<p>① 作業前にイスを机上に上げる。</p> <p>② ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。</p> <p>③ 回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。</p> <p>④ ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。</p> <p>⑤ ゴミ箱を机上に上げる。</p>	<p>・机は動かさない。</p> <p>・イスは机からはみ出さないように正しくのせる。</p> <p>・ビニール袋を正しくセットする。</p> <p>・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。</p>	

<p>じょじんきぎょう 除塵作業 (乾式モップ)</p>	<p>① ダスタークロス^{そうちやく}を装着^{かんしき}した乾式モップヘッドは入りぐち^{いりぐち}の養生^{ようじょう}マットの上^{うえ}でモップの柄^えに取り付け^とる。</p> <p>② 乾式モップ^{かんしき}で、外^{そと}から入りぐち^{いりぐち}を除塵^{じょじん}し、入室^{にゅうしつ}する。</p> <p>室内^{しつない}での作業^{さぎ}手順^{しゅん}は、乾式モップ^{かんしき}作業^{さぎ}手順^{しゅん}のとおり^{おこな}行う^う。</p> <p>③ ゴミ^{ごみ}は前進^{ぜんしん}しながら出口^{でぐち}に向^むかって1箇所^{かしょ}に集^{あつ}める。</p> <p>④ ヘッド^えを柄^えから外^{はず}す。</p> <p>⑤ 使用済み^{しようず}のダスタークロス^{だすたー}をヘッド^えから外^{はず}し、カート^{かーと}の袋^{ふくろ}の中^{なか}に収^{しゅう}納^うする。</p> <p>⑥ 柄^えとヘッド^えをカート^{かーと}に戻^{もど}す。</p> <p>⑦ 小型^{こがた}ぼうきと文化^{ぶんか}ちりとり^{ちりとり}を^{しよう}使用^しし、集^{あつ}めたゴミ^{ごみ}を^{かいしゅう}回収^{する}する。</p> <p>⑧ ゴミ^{ごみ}の取り残^{のこ}しが^{ない}か^か点検^{てんけん}する。</p> <p>⑨ 小型^{こがた}ぼうき、文化^{ぶんか}ちりとり^{ちりとり}を^{もど}カート^{かーと}に戻^すす。</p>	<p>・柄^えの先端^{せんたん}には親指^{おやゆび}を添^そえる。</p> <p>・ヘッド^{へん}の辺^へは^{ひろ}広い^い方^{ほう}を^{せんこう}先行^{する}させ^るる。</p> <p>・入りぐち^{いりぐち}のゴミ^{ごみ}を踏^ふま^{ない}ないように足場^{あしば}を^{かくほ}確保^{する}する。</p> <p>・ヘッド^{へん}は、床^{ゆか}から^{はな}離^{さない}さない。</p> <p>・使用済み^{しようず}ダスタークロス^{だすたー}は^なカート^{かーと}の^{ふくろ}袋^{なか}の中^いに入れ^るる。</p> <p>・ごみ^{ごみ}の取り残^{のこ}しが^{ある}場合^{ばあい}は、小型^{こがた}ぼうきと文化^{ぶんか}ちりとり^{ちりとり}を^{しよう}使用^しし、^{かいしゅう}回収^{する}する。</p> <p>・ヘッド^{へん}は、カート^{かーと}上部^{じょうぶ}に、スポンジ^{めん}面^{うえ}を^し上^しにし、^{じやま}邪魔^{にならない}ないように^お置^くく。</p>	<p>ごみは、おがくずを50ml程度^{ていど}均等^{きんとう}にまいてある。</p> <p>点検^{てんけん}の際^{さい}に^{こえ}声^だを出^{さない}さないこと。</p>
--------------------------------------	--	---	---

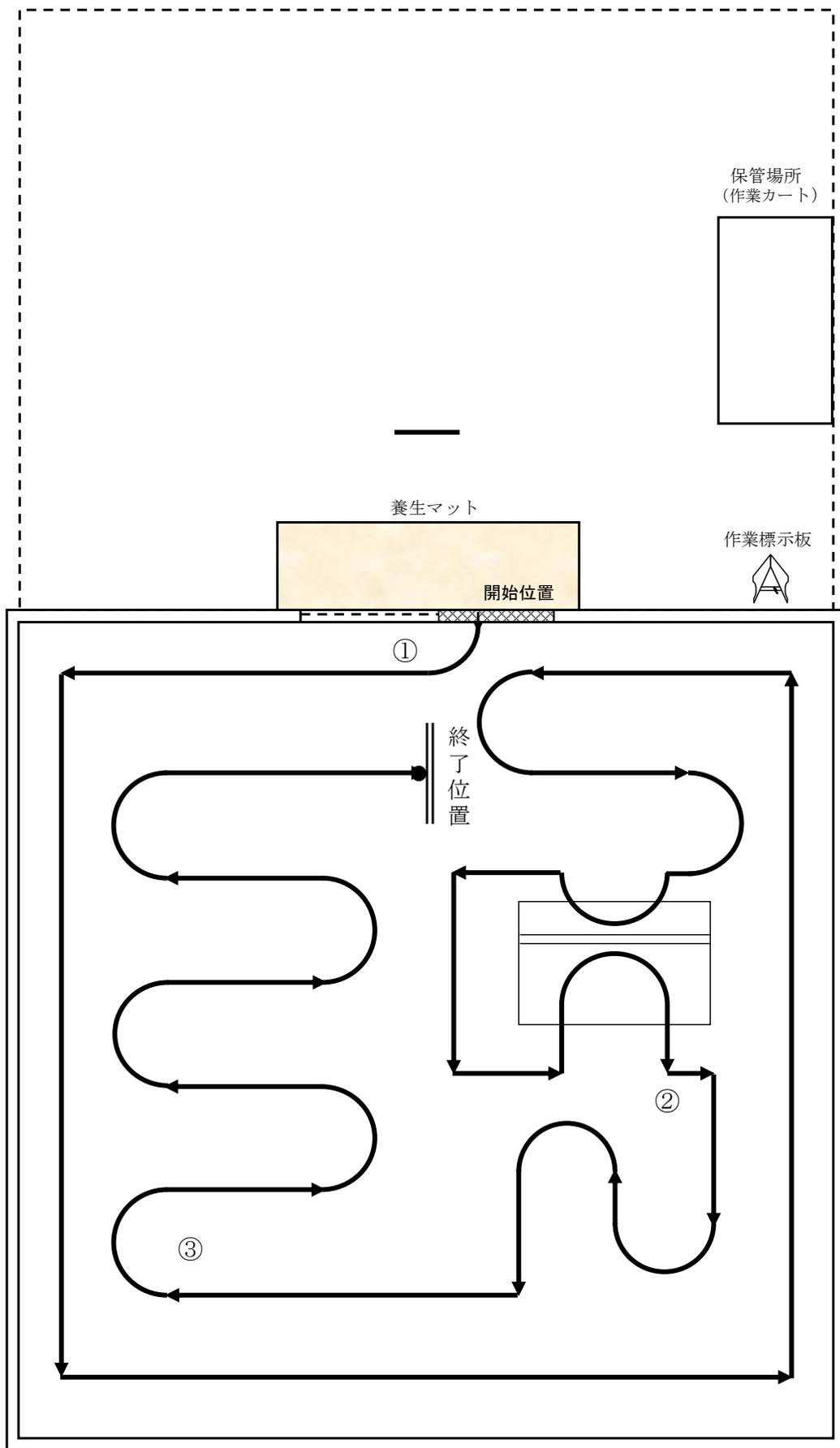
作業仕様 1-2

作業工程	作業方法	補足事項	備考
みずふきさぎょう 水拭き作業 (モップ)	① コート全体を拭く。 ② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。 ③ コーナー周りとは、机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④ モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・柄の先端には親指を添える。 ・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ごみ箱とイス下ろし	安全に音を立てないように下ろす。	・足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	① 青色のタオルを八折にして持つ。 ② 机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。	・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。 ・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。 ・横拭き・縦拭きを行う。	
点検	指差し又は目視点検を行う。	・資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼して退室する。	
資機材の片付け	作業表示板をカートに収納し、カートを保管場所に戻す。		
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

標準配置図(モデル)

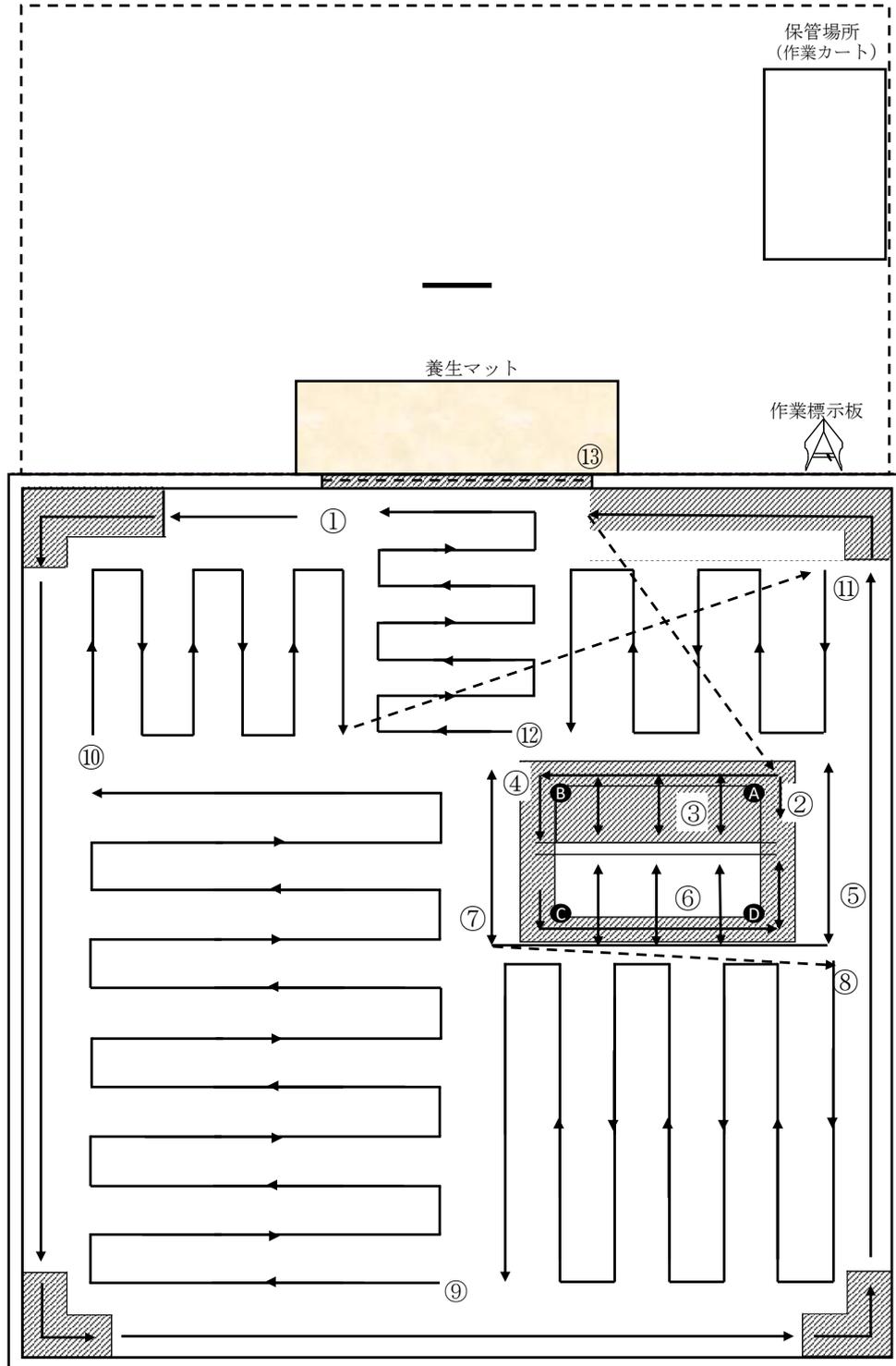


乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順

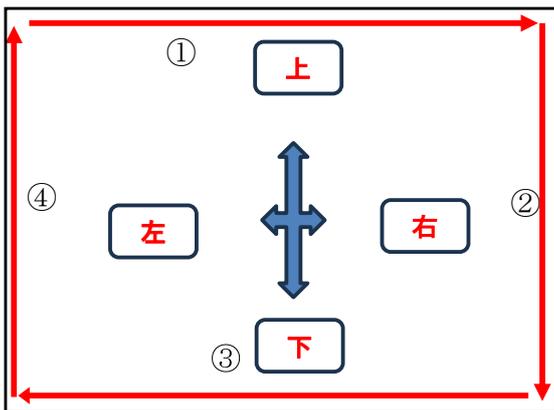


注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

机上拭き

その1. 縁(机の4辺)の作業動線



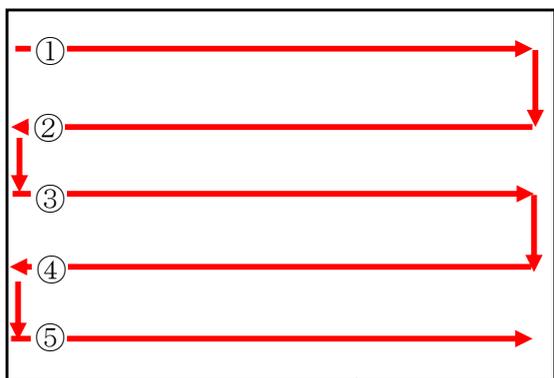
その2. 縁(机の4辺)の拭き方

※. 選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ (縦拭き・横拭きも同様)

A. 机「上端」の縁を左端から①→②→③→④の順で机の「縁」を拭く。

※. 左手で拭く場合は、机「上端」右側からスタートしても構わない。

その2. 机中央の作業動線 (横拭き)

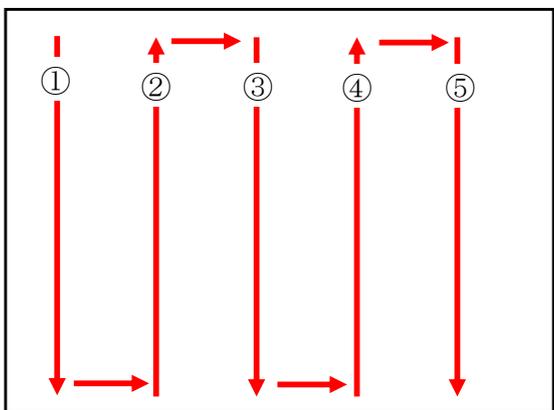


①～⑤の様に机「中央」を左側から拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※. 左手で拭く場合は、机右側からスタートしても構わない。

※. 適宜タオルの面を変えながら拭く。

その3. 机中央の作業動線 (縦拭き)



①～⑤の様に机「中央」を上端から手前へ縦拭きによる拭き方で拭き残しやムラの無いように拭く。(拭く回数は指定しない)

※左手でタオルを持って作業する場合の動線は、右手による拭き方の「逆 (⑤～①)」になっても問題ない。